

第11回江の川上流大規模氾濫時の減災対策協議会 ニュースレター

令和5年5月29日（月）Web開催
(13:30~14:30)

- 一次第
- 挨拶
 - 議事
 - 令和4年度・令和5年度の取組について
 - 取組方針の追加について
 - その他
 - 整備局からの情報提供

江の川上流大規模氾濫時の減災対策協議会は、令和3~7年の5年間で達成する目標を定めた取組方針の3年目を迎えました。第11回協議会では、5年間の最終年度である**令和7年度における目標達成**に向けた取組のフォローアップを目的に、各機関の**令和4年度の取組状況、令和5年度の取組予定**について共有しました。

令和4年度・令和5年度の取組について

令和4年度の取組内容（事例抜粋）



〈安芸高田市の取組事例〉
自主防災組織等活動支援



〈広島地方気象台の取組事例〉
洪水に関する危険度情報の一体的発信



〈三次河川国道事務所の取組事例〉
防災教育の実施

◆会議の様子



◆参加機関

出席：5機関

参加機関	
三次市	
安芸高田市 ※台風2号による大雨対応のため急遽欠席	
広島県	
気象庁 広島地方気象台	
国土交通省 中国地方整備局	三次河川国道事務所 土師ダム管理所

■各機関の取組に関する意見交換

三次市

- 排水機場整備等のハード対策だけではなく、住民の避難に対する意識の啓発に引き続き取り組んでいく。
- 避難所の開設、運営等においてマンパワー不足が課題であるため、支援いただきたい。

広島県

- 要配慮者利用施設の避難確保計画作成について、各自治体の作成率が100%となるよう、自治体への呼びかけに継続的に取り組む。

土師ダム管理所

- 今年度は、出水期に入る前からダムの貯水位が5mも上昇するような大雨が発生している。
- 出水期には突発的に大雨が降るような状況もあるため、放流情報の的確な情報発信に引き続き取り組む。

令和5年度の取組予定

- 三次市
 - ✓ 水田貯留等の流域治水に関する取組
 - ✓ 水防体制におけるマンパワーの確保
 - ✓ 国・県・気象台と連携した洪水想定訓練の実施 等
- 安芸高田市
 - ✓ 地域防災リーダー養成講習会の開催
 - ✓ 河川監視システムの構築
 - ✓ 災害時における救援物資輸送訓練の実施 等
- 広島地方気象台
 - ✓ 線状降水帯の発生に関する情報をより早期に提供
- 灰塚ダム管理所、土師ダム管理所
 - ✓ トップセミナーの実施
 - ✓ 放流警報設備の改良
- 三次河川国道事務所
 - ✓ 多機関連携型タイムラインのブラッシュアップ
 - ✓ 危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの設置
 - ✓ 出前講座の実施 等

三次河川国道事務所 村岡副所長より挨拶（所長代理）

- ・ 本協議会は、江の川上流における大規模氾濫を想定し、関係機関が連携してハード、ソフト対策を計画的・一体的に推進することを目的に取り組んでいる。
- ・ 近年、江の川上流域では平成30年7月豪雨、令和2年7月豪雨、令和3年8月豪雨と度重なる洪水に見舞われている。減災対策の推進に向けた実りある会議とするため、忌憚の無いご意見を頂きたい。

まとめ

- ✓ 本協議会は11回目の開催を迎えている。
- ✓ 令和3~7年の5年間の最終年度である**令和7年度における目標の達成**に向けて各機関に取り組んでいる。
- ✓ 引き続き関係機関と連携し、減災対策を推進していく。